

留学はココだ!



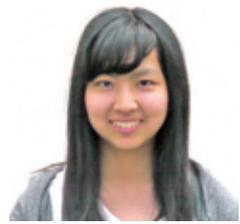
海沿いをホストファミリーと散歩



ヴィクトリアで有名なアフタヌーンティー



Canada・ヴィクトリア大学



表現文化コース
2回生
宮原 小夜 さん
(みやはら さよ)

○費用 約 35 万円
○時期 春休みの 1 ヶ月間

○動機 以前から映画や絵本の影響で外国や英語に興味がありました。実際に使用されている英語にふれることでコミュニケーション能力を高めたり、ホームステイを通じて独自の生活様式や文化を体感したいと思ひ、留学を決意しました。

○感想 私は人見知りです英語力に自信もなかったため最初は不安でいっぱいでしたが、カナダの人々の温かさのおかげですぐにうちとけることができました。友人とは放課後に出かけたり、ホストファミリーとは映画を観たり散歩をしたりと、毎日が素敵な出会いや出来事ばかりで、今までで最も濃い一ヶ月を送ることができました。

China・華東師範大学



言語応用コース
4回生
三木 菜摘 さん
(みき なつみ)

○費用 約 17 万円
○時期 2回生の夏休み(8月中旬)から2週間

○動機 海外へ行くこと自体が初めても同然だったことと、一年程度しか勉強していないうことと、少し不安を感じていたのですが、せっかくの夏休みなので大学で学んだことを生かせることがしたいと思ひ、中国語短期研修プログラムに参加しました。

○感想 中国の人々に混ざって生活したことで、観光などではあまり分からないような地元の人々の生活を見ることができ、文化の違いを身近に感じることができました。また、コンビニのおばちゃんや大阪のおばちゃんのように中国語で話しかけてくれたり、スーパーで働いているお兄さんと英語でコミュニケーションをとったりと、たくさんの人と母語以外で話す経験ができ、大変楽しく有意義な二週間でした。



杭州へ日帰り旅行 西湖で遊覧船に乗船



大学の方々と

Korea・ソウル市立大学校



社会学コース
4回生
大友 佑希子 さん
(おおとも ゆきこ)

○費用 約 6 万円 (半分補助あり、授業料他免除)
○時期 3回生の8月から約3週間

○動機 新修外国語で朝鮮語を選択し勉強を重ねていくうちに、もっと朝鮮語を話すことができるようになりたいと感じ、留学を決めました。また、同世代の韓国人と交流できる点や、文化について学べる点も魅力的に感じました。

○感想 朝鮮語を使ってコミュニケーションをとることで、実践的な学習ができたと思ひます。文化体験や済州島への旅行などイベントも多く、楽しみながら学ぶことができました。プログラムに参加した多くの人との出会いが非常に刺激的で、短い期間でしたが、充実した三週間を過ごしました。



韓服体験で着たチマチョゴリ



料理教室でチャプチェとブルコギを作る

大阪市立大学文学部では、フランス、中国、韓国等の各大学との間に交換留学制度があります。また、フランス(セルジー・ポントワーズ)、ドイツ(ハンブルク)、中国(華東師範)、イギリス(シエフィールド)、韓国(ソウル市立大学校)、カナダ(ヴィクトリア)への各短期語学研修があり、それらに参加すると、各々の外国語の単位を取得することもできます。

Japan・大阪市立大学



1回生
黄 世操 さん
(こうせそう)

○費用 約 150 万円以上
○期間 2年以上

○動機 まだ若いうちにもっと勉強すべきだと考えて、仕事を辞めて海外留学を決意しました。国から離れて、世の中の人々はどのように生活しているのか、政治や法律など全く異なる国はどのような社会をつくりだしたか、言葉や文化など全く異なる人々は一体どうやって上手に理解し合うのかという異文化に対する好奇心と探求心に駆られ、留学の一步を踏み出しました。

○感想 新たな知識を増やし、見聞を広めるため留学しましたが、結局予想とは違つことに気がつきました。留学の最大の魅力は、他国の知識や事情などをわかるようになったことではなく、異民族や外国人とのつきあいが増えるほど、自分の国の様子がよく見えることだと思ひます。そして、「この世界はどのような自分、どのような中国を望んでいるか」を考え始めました。「発展最中期」に向かっている中国にとって、このような考え方は最も必要だと感じました。



神戸六甲山にて



京都嵐山にて

ルク大学

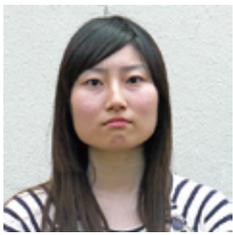


社会学コース
3回生
大橋 菜由 さん
(おおはし らよ)

○費用 約 40 万円
○時期 2回生の8月から1ヶ月間

○動機 新修外国語でドイツ語を履修してドイツに行ってみたくて思っていたときにサマースクールがあることを知り、参加し

Russia・サンクトペテルブルク大学



心理学コース
4回生
石川綾さん
(いしかわあや)

○費用 ほぼ0円(大学が支出するため)
○時期 2回生の夏休みからの1ヶ月間

○感想 引率の先生もおらず、生徒四人だけだったので最初はとても不安でしたが、行ってみると毎日が楽しかったです。料理はどれも美味しいし、街並みは綺麗だし、周りのロシア人は美男美女ばかりだし……笑。大学ではロシア語でロシア語の授業を受けるので大変でしたが、徐々に理解できることが増えて嬉しかったです。本当に夢のような1ヶ月でした。

○動機 ロシア語の授業で先生に勧められたのがきっかけです。もともと留学してみたいのですが英語が苦手なので、「これはもうロシア留学しかないな」と思って勢いで応募しました。学費や渡航費、寮費まで大学に負担していただけたのも大きな理由でした。



ロシアでよく食べていたブリニ



血の上の救世主教会

- 掲載されていない協定校
- ★イギリス/ロンドン大学東洋アフリカ学院
 - ★フランス/セルジー・ポントワーズ大学
 - ★ドイツ/「恵光」日本文化センター

France・リヨン第3大学



フランス語圏言語文化領域3回生
近石真代さん
(ちかいしまよ)

○費用 約200万円
○時期 2回生の9月から8ヶ月間

○感想 初めての海外での一人暮らしや大学生活をこなしていくのはやはり難しく、はじめは挫折の連続でした。しかしその度にはたくさんの仲間を支えられ、徐々に生活力や自己解決力が身につきました。充実した日々を送ることができました。この一年で味わった苦労も、その先の達成感も、これからの私の強い自信になるだろうと確信しています。

○動機 母国から離れ、未知の環境に長期間身を置き、その中で常に自分の限界に挑戦し続けることで、ひとまわり成長できるのではないかと期待、また現地の生きた言葉や生活に直に触れ、フランスへの理解をより深めたいという思いから長期留学を決定しました。



リヨンの風景



交流会で節分の日に巻きずしを作って食べている様子

協定校留学と非協定校留学の違い

協定校に留学した場合、その学校で受講し合格した授業の単位を大阪市立大学の単位として読み替えることができます。ただし、大阪市立大学を休学していたり、非協定校の授業を受講した場合は、この読み替えができません。このため、非協定校に留学する人は、経済的理由から大阪市立大学を休学していくことがほとんどです。

Britain・シェフィールド大学



言語応用コース
3回生
朝夷亮介さん
(あさひあきひろ)

○費用 約78万円
○時期 2回生の8月から1ヶ月間

○感想 僕は海外に行くことは初めてだったので、海外の文化、建物の大きさ、日本人との違い(良い点、悪い点)など、何もかも驚きまくった1ヶ月でした。慣れない土地で英語という慣れない言葉で生活するのは苦労しましたが、それも良い経験になりました。少しでも興味がある方は是非ともチャレンジし、楽しんでください!

○動機 大学に入った時から英語圏に留学したいとはぼんやりと考えていました。二回生の夏に留学費用を貯めることができました。しかし、少しためらいがありました。しかし、自分でしばらく考えた後に「悩んでいるなら行ってみよう」という結論に至りました。



ELTという学校のクラスの人たちとの一枚



ロンドンにある国会議事堂の時計塔(エリザベス・タワー)

この他、大学全体のものとしてロシア(サンクトペテルブルク)への短期語学研修もあります。また、私費で長期留学する方も少なくありません。ここでは、大学のプログラムとしてある留学と、それによらない留学をした方、そして市文への留学生の方にお話を聞きました。

The Philippines・ライフセブ Canada・ガスタウンビジネス カレッジ

非協定校

All Inclusive Marketing Inc.



国語国文学コース
4回生
金田遥花さん
(かねだはるか)

○費用 約100万円(2ヶ国合計)
○時期 3回生の後期から9ヶ月間

○感想 フィリピンで三ヶ月間英語の勉強したのち、カナダに渡り、三ヶ月間ビジネススクールに通ったあと、三ヶ月間現地のIT企業でインターシップを行いました。学びたいことに合わせて国や地域を移動したのはとても良かったと思います。

○動機 大学二年生の春休み、アイセックの研修生として二ヶ月間台湾で働いていた際、他国から来た研修生との交流を通じてビジネスと英語の勉強をもっとしなければならぬと強く感じたことがきっかけでした。



バンクーバーにて、ビジネススクールの修了式に担任の先生と



フィリピンの海



遠足で行ったリュウベックの街並みと教会

○感想 大学の授業はドイツ語で行われたので難しかったですが、すごく勉強になりましたし、充実していました。寮の生活も楽しくて色々な国の学生と友達になれました。週末は旅行に行ったり、買い物に行ったりと忙しい日々でした。



市大文学部に入学すると、さまざまな資格を取得できる機会を得ることが出来ます。

特に中学・高校の教員免許と博物館学芸員資格は、学科やコースの制限なく資格を取得することが可能なので、自分なりの組み合わせで資格の取得が可能です。

たとえば、ある教科だけの教員免許を取得するパターンもあれば、複数教科を取得するパターンもあります。さらに哲学コースに進みながら英語の教員免許を取得するといったように、学科やコースの枠を越えた教科の教員免許を取得することも可能ですし、博物館学芸員資格と教員免許との二つの取得を狙うこともできます。

以下では、英語とフランス語という二科目の教員免許の取得をめざす先輩、学部専門の授業と無理なく両立させて学芸員資格の取得をめざす先輩、自分の専攻するコースの枠を越えた科目の取得をめざす先輩のお話を紹介します。

あなたの人生の旅のお供、資格。市大文学部で、あなたにぴったりのお供を見つけてみませんか？

文学部で取得できる資格一覧

- * 高等学校教諭 1 種免許状
(地理歴史、公民、国語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語)
- * 中学校教諭 1 種免許状
(社会、国語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語)
- * 博物館学芸員資格
(このほか、「社会調査士」「認定心理士」資格の取得も可能です)



Q. 教員免許を取ろうと思つた理由はなんですか？

せっかく大学に入ったのだから資格の一つでも取ろうと思つたのが始まりですね。入学したときからフランス語圏言語文化領域に進むことは決めていて、そうなるを選択する授業の関係でフランス語の免許を取るハードルが低くなるのでフランス語を。あと、フランス語の免許だけでは採用が厳しいと先輩に言われたので、もともと好きだった英語の免許を取ろうと思いました。

学芸員とは？

博物館施設で展示や保存といった業務を行いつつ研究をする専門職です。

フランス語圏言語文化領域 4 回生
えさしか たくま
江刺家 拓真さん
(英語・フランス語教員免許)

「二教科の教員免許の勉強で学びの視野が広がりました」

英語とフランス語のW取得！

Q. 二つの教員免許の取得をめざして、よかったことはなんですか？

一つ目は、英語の教職を取るために英語学の授業を受けたときに、新しく言語学に興味がわき、学術的な視野を広げることができたことです。二つ目は、英語とフランス語、それぞれの語学教育法の授業を受けたところ、先生方のおっしゃることに共通するものがあることに気づき、そこから外国語教育とはどういうものかということを考えるようになったことです。英語とフランス語、それぞれの視点から言語というものを学問することで、新たな視点を得ることができました。

「幼い頃からの憧れである学芸員資格の取得をめざしています」



日本史コース 3 回生
はまなか よしこ
濱中 良子さん
(博物館学芸員資格)

文学部の授業と資格取得のための授業とを両立！

Q. 学芸員資格取得をめざしたきっかけは何ですか？

やはり博物館が好きだったからです。私は幼い頃からいきものが好きで自然史博物館にしばしば通っており、そこで働く学芸員にもずっと憧れを抱いていました。そして大学に入学し、自分将来について考えてみたとき、「学芸員資格が大学で取得できること」「資格のための授業と学部専門の授業が両立できること」がわかったため、幼い頃からの憧れであった学芸員の資格を取得したいと思いました。

Q. 学芸員資格取得に関する授業の内容はどのようなものでしょうか？

博物館科目では、基本的に講義形式の授業を終えてから実習に移ります。しかし講義形式の授業も、ただ座って話を聞いているばかりではありません。博物館を見学するという課題も多いです。講義で資料の保存方法等を学んだうえで見学するので、普段とは異なる視点で博物館を見学でき、新鮮です。講義形式の授業をすべて履修した私は、現在、実際に資料をあつかう実習授業を受講中ですが、やはり実習はおもしろいです。



Q. 教員免許を取ろうと思つた理由はなんですか？

人とかかわる仕事に興味があって、そこから学校の先生になりたいと思うようになりました。多感で不安定な時期だからこそ生徒たちのいろんな成長が見られるだろうと考え、中学校の国語の先生をめざしています。

世界史コース 4 回生
かどの こうへい
門野 洸平さん
(国語・地理歴史・社会教員免許)

世界史を専攻しつつ国語教員免許取得！

Q. 世界史コースに進みながら国語の教員免許の取得をめざしたのはなぜですか？

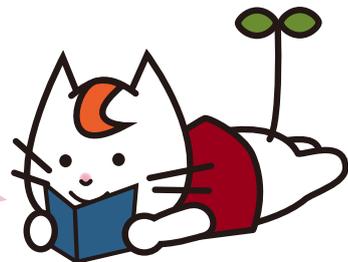
一つは、国語のほかに社会と地理歴史の免許も取りましたが、教師として人間が普通に生きていく中で基礎的で大切なものを伝えるためには、社会や地理歴史よりも国語という教科の方がいいと考えたからです。もう一つは国語教員という仕事について学ぶのとは別に、自分の関心のある学問を深めたかったからです。国語国文学コースも考えましたが、教えることと自分の興味があることとは分けたかったので、世界史コースに進みました。将来の仕事とは必ずしも結びつかないかもしれないけど、自分の深めたい学問に、よりかかわれるのは総合大学ならではの魅力だと思えます。



「国語の先生になるための勉強と世界史の勉強とを両立できました」

大阪市立大学文学部・文学研究科 教育促進支援機構

▼公式サイトはこちら!
<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/spel/>
 ▼Twitterのアカウントはこちら!
 @oculit_spel



教育促進支援機構公式キャラクター
りてらちゃん

研究支援

文学部生の主体的な知的探求創造の活動全般を支援しています。「卒業論文セミナー」、大学院生が自分の研究を広く報告する「院生研究フォーラム」や学生間の交流を深める「文学カフェ」などのオーガナイズ、書評賞、研究奨励賞、優秀卒論・修論賞などの企画と審査などを行っています。



↑院生研究フォーラム
院生の方々の研究発表とそれに対する質疑応答が行われます。

↓卒論セミナー

卒論に悩む学部生を対象に、院生が自分の体験談を語り、質問に答えます。



教育促進支援機構とは?

斬新なアイデアに基づく、学生の、学生による、学生のための支援組織「大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構」(以下支援機構)は、文学部 50 周年記念事業の一環として 2003 年 2 月 10 日に発足しました。これは、学生(学部生+大学院生)の「学び」を支援するために、教職員のサポートを得ながらも学生がみずから事業を運営する組織であり、学生同士や教職員らとのコラボレーションによって、新たな知の創発をめざすユニークなプロジェクトです。毎年、学生を中心に様々な企画を行っています。



←文学カフェ

自由な雰囲気のカフェで、先生に話していただいたり議論を行ったりします。

教育支援

文学部生の教育環境をより良くするためのさまざまな活動として、「先輩学生によるコースガイダンス」などの企画による文学部生の主体的活動の促進、さらに「留学支援セミナー」などの国際教育の場の提供も行っていきます。

↓先輩学生による

コースガイダンス

コース選択前の 1 回生に向けて先輩から見た各コースの魅力を伝えるべくプレゼンやブースでの質疑応答を行っています。



↑留学支援セミナー

留学経験のある学生がプレゼンテーションを行ったり、国ごとにブースに分かれて相談会を行います。



主に一般の就職活動や教員採用試験にチャレンジする学生さんへのいろいろなサポートを行っています。関連する各種のセミナーを月に一度の頻度で開催し、また隔週で月曜日にメールマガジンを発行して就職活動などに有用な情報を発信しています。

教育促進支援機構の機関誌『フォーラム人文学』の編集作業を行います。支援機構の活動報告や、優秀卒論・修論、各コース紹介など、文学部・文学研究科の活動を発信しています。

編集



↑フォーラム人文学

年間の企画や、先生へのロングインタビュー「人と学問」、優秀卒業論文賞の要約、書評賞、各コース紹介など内容盛りだくさんです。



↑新入生歓迎キャン

大学生活への不安を無くしてもらおうための人気企画。毎年たくさんの新入生が参加しています。

進路支援

↓進路支援セミナー

就職情報会社の方による講習会や、実際に就職を決めた方の報告会、就活中の学生に対する相談会が開かれます。



↑面接セミナー

キャリアカウンセラーの方をお招きし、講義や模擬面接などを行います。



その他

↓文学部を知りたい

人のための市大授業

文学部の先生方による模擬授業や、市文生とのフリークを通して文学部での学びを体感することができます。



↑オープンキャンパス

学生スタッフが主体となって企画し、毎年好評を博しています。学生によるプレゼンや学内ツアーなど様々なイベントを用意しています。



←文学部案内

「市大文学部をもっと知ってほしい!」という趣旨で学生が公式の案内冊子(この冊子です!)の企画・作成・編集をすべて行っています。

経験者の声



支援機構の活動に参加したきっつけは? 最初に参加した活動は一回生のときの春の市大授業です。新入生歓迎キャンプに行ったときに見た先輩の姿がすごくかっこよくて、私もやってみたいって思ったのがきっかけです。高校の頃はわりと引込み思考だったから、大学生になるんだし頑張りたいなって、では、活動に参加したこと得たものはありましたか。 やっぱりパソコンのスキルや話し合いのやり方、企画の進め方などが自然に身についたのがよかったなって思いました。あと、これは企画に関係ないんですけど、文学部内での上下の繋がりが自然と生まれて、真剣な相談もできるような信頼できる人達とも出会えたから、私にとって居心地のいい場所ができたこともありますね。それから活動する中で、私は誰かのために何かをするっていうのが好きなんだなって気づけたことも大きいです。もともと誰かを喜ばせるのが好きだったなって。それは将来の進路を考えるときにも活きてきていると思います。

最後に、**未来の文学部生の皆さんに一言!** 大学生活は案外すぐに過ぎてしまうもの。それを有意義な、充実したものにしたいなって思うのなら、私はぜひ支援機構の活動に参加することを勧めます。他にはない貴重な経験ができますよ。色んな人と出会えますし、私がそうであったように自分自身も成長できると思います。

表現文化コース
4回生
いしはら まな
石原 真名さん